

社会資本総合整備計画における事後評価について【報告】

1. 社会資本総合整備計画とは

公共下水道の整備については、国庫補助を受け事業を行っています。国庫補助については、平成 22 年度より、従来の個別補助金が原則廃止され、社会資本整備総合交付金に移行しました。

本交付金を受けるには、社会資本総合整備計画（計画期間は概ね 3～5 年）を策定し、国土交通省に提出します。この計画に位置づけられた範囲内で国費を充当し事業を実施することができます。計画期間終了時には、整備計画の目標の実現状況を評価（事後評価）し、これを公表するとともに国土交通大臣に報告します。

2. 事後評価の対象事業

今回評価した社会資本総合整備計画は、計画期間を平成 28 年度～平成 31 年度（令和元年度）とする整備計画です。当初、平成 28 年度～平成 32 年度までの 5 年間の計画としていましたが、計画に位置づけた事業が平成 31 年度（令和元年度）で完了したため、計画期間を 4 年間に変更しました。

また、平成 30 年度より、下水道（汚水）の未普及解消を図る事業については、社会資本総合整備計画の重点計画に位置づけられたため、当初一つであった整備計画を二つに切り分けました。事後評価については、平成 28 年度～平成 31 年度（令和元年度）までの実績として、二つの整備計画を一体的に実施しています。

<整備計画①>

計 画 の 名 称：館山処理区における下水道整備による良好な環境の創造

計 画 の 期 間：平成 28 年度～平成 29 年度（2 年間）

計 画 の 目 標：下水道整備を行い快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する

計画の成果目標：下水道整備予定面積として 8.4ha を実施し、下水道処理人口普及率を 11.3%から 11.5%に増加させる。

<整備計画②>

計 画 の 名 称：館山処理区における下水道整備による良好な環境の創造（重点計画）

計 画 の 期 間：平成 30 年度～平成 31 年度（2 年間）

計 画 の 目 標：整備計画①に同じ

計画の成果目標：整備計画①に同じ

3. 事業実施内容

事業の実施内容については、下記のとおりです。

(補助対象のみ 平成 28 年度～平成 31 年度合計)

	(整備延長 L=100m、整備面積 A=0.7ha)	計画
○真倉新井污水幹線整備	: 整備延長 L=100m、整備面積 A=0.7ha	実績
	(整備延長 L=240m、整備面積 A=0.8ha)	計画
○南部污水幹線枝線整備	: 整備延長 L=215m、整備面積 A=0.9ha	実績
	(整備延長 L=640m、整備面積 A=3.3ha)	計画
○真倉新井污水幹線枝線整備	: 整備延長 L=616m、整備面積 A=3.5ha	実績
<hr/>		
	(整備延長 L=980m、整備面積 A=4.8ha)	計画
合 計	: 整備延長 L=931m、整備面積 A=5.1ha	実績

単独費分としては、平成 28 年度～平成 31 年度の合計で、整備延長 L=635m、整備面積 A=2.4ha の整備を実施しました。

整備箇所については、(別紙)「公共下水道事業実施箇所(污水)」を参照してください。

4. 目標値の実現状況

本整備計画の目標値の実現状況について、平成 31 年度(令和元年度)末の下水道整備人口は 5,500 人となり、整備計画の算定式により、令和 2 年 3 月 31 日現在の総人口 45,887 人で普及率を算出すると $5,500/45,887=12.0\%$ となります。

指標①: 下水道処理人口普及率について、総人口に対する下水道の利用可能な人口の割合 11.5%の目標値に対して、12.0%となり、目標を達成しました。

この館山市下水道事業審議会への報告後、館山市ホームページでの公表及び国土交通大臣へ報告します。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 事後評価書

令和2年 月 日

計画の名称	館山処理区における下水道整備による良好な環境の創造			重点計画の該当
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)	交付対象	館山市	
計画の目標	下水道整備を行い快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。			

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道整備予定面積として8.4ha (5.0ha+3.4ha (単独費分)) を実施し、下水道処理人口普及率を11.3% (H28) から11.5% (H31) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

①下水道処理人口普及率

下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人) 総人口固定：住民基本台帳人口 48,495人 (平成27年4月1日現在)

当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
11.3%	11.4%	11.5%

当初一つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	98 96	A	98 96	B	0 0	C	0 0	D	0 0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0% 0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	--------	---	--------	---	--------	-----------------------------	--------------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

事後評価（中間評価）の実施時期

令和2年6月8日

・計画策定主体の館山市（建設環境部）が館山市公共下水道事業について、社会資本整備総合交付金評価実施要綱に基づき実施する。

公表の方法

館山市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H28	H29	H30	H31		
											上段：計画 ■ 下段：実績 ■					
A1-1-1	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	真倉新井汚水幹線整備（未普及解消）	φ 200 L=100m、A=0.7ha φ 200 L=100m、A=0.7ha	館山市	■	■			24 24	
A1-1-2	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	南部汚水幹線枝線整備（未普及解消）	φ 200 L=210m、A=0.7ha φ 200 L=193m、A=0.8ha	館山市	■	■			21 21	
A1-1-3	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	真倉新井汚水幹線枝線整備（未普及解消）	φ 200 L=420m、A=2.8ha φ 200 L=410m、A=2.7ha	館山市	■	■			53 51	
											合計			98 96		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31		
										合計					
											合計				

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31		
										合計					
											合計				

D 社会資本整備円滑化地積整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31		
										合計					
											合計				

その他関連する事業										上段：計画 ■ 下段：実績 ■				全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					
											H28	H29	H30			H31
A1'-1-2	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	南部汚水幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 L=30m、A=0.1ha φ200 L=22m、A=0.1ha	館山市					3 2	
A1'-1-3	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	真倉新井汚水幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 L=220m、A=0.5ha φ200 L=206m、A=0.8ha	館山市					18 19	
											合計				21 21	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 未普及対策による面整備を継続的に実施することで、公共下水道を利用できる人口を着実に増加させ、良好な住環境が整いつつある。 				
II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道処理人口普及率 →下水道を利用できる人口 (人) / 総人口(人)	最終目標値	11.5%	目標値と実績値 に大きな差が生 じた要因		
		最終目標値	12.0%			
		最終目標値		目標値と実績値 に大きな差が生 じた要因		
		最終目標値				
		最終目標値		目標値と実績値 に大きな差が生 じた要因		
		最終目標値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

3. 特記事項(今後の方針等)

【今後の方針】

- 「館山市公共下水道ストックマネジメント計画」に基づき、公共下水道施設の機能不全防止を図る。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 事後評価書

令和2年 月 日

計画の名称	館山処理区における下水道整備による良好な環境の創造（重点計画）			重点計画の該当	○
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）	交付対象	館山市		
計画の目標	下水道整備を行い快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。				

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道整備予定面積として8.4ha（5.0ha+3.4ha（単独費分））を実施し、下水道処理人口普及率を11.3%（H28）から11.5%（H31）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

①下水道処理人口普及率

下水道を利用できる人口（人）／総人口（人） 総人口固定：住民基本台帳人口 48,495人（平成27年4月1日現在）

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
(H28当初)	(H30末)	(H31末)	
11.3%	11.4%	11.5%	当初一つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	21 21	A	21 21	B	0 0	C	0 0	D	0 0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0% 0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	--------	---	--------	---	--------	-----------------------------	--------------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期		事後評価（中間評価）の実施時期	令和2年6月8日
事後評価（中間評価）の実施体制		公表の方法	館山市ホームページに掲載
・計画策定主体の館山市（建設環境部）が館山市公共下水道事業について、社会資本整備総合交付金評価実施要綱に基づき実施する。			

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業										上段：計画 ■ 下段：実績 ■				全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					
											H28	H29	H30			H31
A1-1-2	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	南部汚水幹線枝線整備（未普及解消）	φ200 L=30m、A=0.1ha φ200 L=22m、A=0.1ha	館山市					3 2	
A1-1-3	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	真倉新井汚水幹線枝線整備（未普及解消）	φ200 L=220m、A=0.5ha φ200 L=206m、A=0.8ha	館山市					18 19	
合計															21 21	

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31			
合計																

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31			
合計																

D 社会資本整備円滑化地積整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31			
合計																

その他関連する事業				上段：計画 ■ 下段：実績 ■													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31			
A1'-1-1	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	真倉新井汚水幹線整備(未普及解消)	φ200 L=100m、A=0.7ha φ200 L=100m、A=0.7ha	館山市						24 24	
A1'-1-2	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	南部汚水幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 L=210m、A=0.7ha φ200 L=193m、A=0.8ha	館山市						21 21	
A1'-1-3	下水道	一般	館山市	直接	—	汚水	新設	真倉新井汚水幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 L=420m、A=2.8ha φ200 L=410m、A=2.7ha	館山市						53 51	
											合計					98 96	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		・未普及対策による面整備を継続的に実施することで、公共下水道を利用できる人口を着実に増加させ、良好な住環境が整いつつある。					
II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道処理人口普及率 →下水道を利用できる人口 (人) / 総人口(人)	最終目標値	11.5%	目標値と実績値 に大きな差が生じた要因			
		最終目標値	12.0%				
		最終目標値		目標値と実績値 に大きな差が生じた要因			
		最終目標値					
		最終目標値		目標値と実績値 に大きな差が生じた要因			
		最終目標値					
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)							

3. 特記事項(今後の方針等)

【今後の方針】 ・「館山市公共下水道ストックマネジメント計画」に基づき、公共下水道施設の機能不全防止を図る。

公共下水道事業実施箇所(汚水)

館山湾
鏡ヶ浦

館山総合高校
水産校舎

市立第二中学校





館山郵便局

館山海苔店

関N1号線

館山病院

凡 例

	館山市公共下水道事業認可区域
	平成27年度以前施工済み
	平成28～29年度実施
	平成30～31年度実施 (重点計画)

城山公園

